

令和5年度

環境経営レポート

対象期間：令和5年6月～令和6年5月



発行年月日：令和6年10月31日



株式会社 高橋工務店

目 次

- 1 環境方針
- 2 事業概要 & 認証登録範囲
- 3 実施体制
- 4 環境目標
- 5 環境活動計画
- 6 環境目標の実績
- 7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直し結果

1 環境方針

《経営理念》

「建設業を通じて、地域社会に貢献し、健康で豊かな生活文化の向上に役立ち、社会の信頼を得て発展する企業を目指す」

《環境理念》

美しい自然を将来に引き継いでいくため、環境に配慮した事業活動に際し、環境負荷の低減及び、環境保全活動に自主的・積極的に取り組むとともに、環境経営の継続的改善の推進を誓約します。

《環境保全への行動指針》

環境関連法規制は常に更新し遵守することを誓約した上で、当社は以下の活動に取り組みます。

- ① 本社・建設現場の機器、重機、車両等の燃料、電力削減等により二酸化炭素排出削減の推進に努めます。
- ② 建設副産物の適正な分別等により、再資源化の推進に努めます。
- ③ 水使用量等省資源に努めます。
- ④ 建設現場における騒音・振動等の環境配慮、品質向上等に力を入れ、顧客重視の事業活動に努めます。
- ⑤ 環境レポートの公表や、地域ボランティア活動等に積極的に参加し、環境コミュニケーションに努めます。
- ⑥ 環境経営方針は全従業員に周知徹底し、励行いたします。

制定日：平成27年7月24日

改訂日：令和3年6月10日（3版）

株式会社 高橋工務店

代表取締役社長 高橋 勢治

2 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 高橋工務店 代表取締役社長 高橋 勢治

2 所在地

本社：〒031-0802
青森県八戸市小中野8丁目3-4
TEL 0178-22-7105 FAX 0178-22-7107
資材置場：〒039-1103
青森県八戸市長苗代字大古殿16

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部部长 高橋 祐樹
環境事務局 総務部 高橋 香衣

4 事業活動の内容

官公庁工事・民間工事における施工管理(安全・品質、工程の管理または補助)などの管理業務
主な請負工事
建築工事：住宅・学校・工場などの建築・改修等
土木工事：道路・下水道工事等

5 事業規模

従業員数 27名 (R6.5現在)
延べ床面積(本社) 750㎡
資本金 3,000万円

売上高(百万円)

R3年度	R4年度	R5年度
811	921	814

6 認証登録範囲

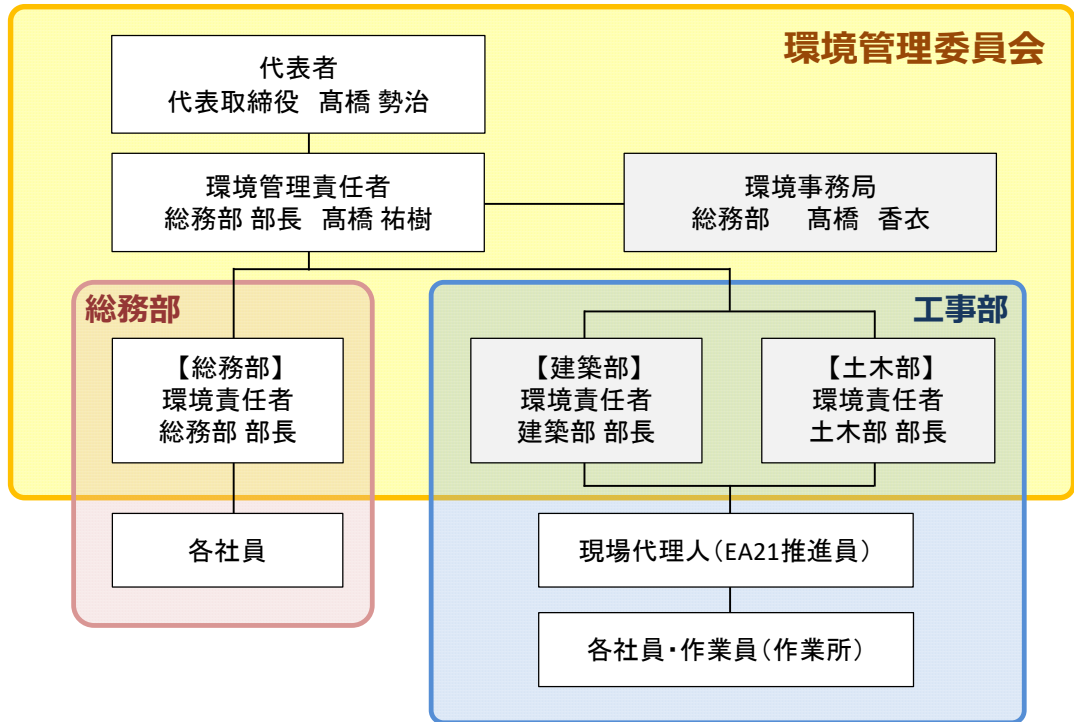
対象範囲 株式会社高橋工務店の全組織・全活動

7 会計年度

6月から翌年5月まで

3 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・効果的な実施体制を構築する。 ・経営における「課題とチャンス」整理と明確化。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境方針の策定
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は代表者とし、環境管理責任者が召集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 ・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。 ・従業員に対する教育訓練の実施
現場代理人 (EA21推進員)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入場者及び作業員への環境配慮事項(燃料削減・分別・緊急事態等)の教育・伝達・指示。 ・毎日の作業前KY時に現場の取組項目から抜粋してKY活動を行う。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境目標

当社では、平成30年度から令和2年度の平均を基準として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ下表のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表1 環境目標

項目		基準年実績値 H30～R2		中期目標(内単年度目標)		
		実績値	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量の抑制	購入電力使用量	57,738	kwh	56,006	56,006	56,006
	ガソリン使用量	9,774	L	9,481	9,481	9,481
	軽油使用量	29,761	L	29,166	28,868	28,571
	灯油使用量	7,623	L	7,546	7,546	7,546
廃棄物の排出抑制 (建設副産物のリサイクル率)			%	毎年度約95%の再資源化を目指す。		
環境配慮工事(クレーム件数)			件	0	0	0
地域活動(ボランティア・地域清掃)		1	回	1	1	1

表2 基準年実績値を求めるための過去実績

項目		基準年実績値 H27～H29		平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績値	単位			
二酸化炭素排出量の抑制	購入電力使用量	73,367	kwh	53,782	69,227	50,210
	ガソリン使用量	10,597	L	11,215	8,941	9,166
	軽油使用量	25,409	L	31,026	19,605	38,651
	灯油使用量	11,604	L	6,001	8,416	8,452
廃棄物の排出抑制 (建設副産物のリサイクル率)			%	66.24	75.50	99.19
水使用量削減				生活用水が主体(50ℓ/日・人)にて節水管理強化によりデータ管理とする。		
環境配慮工事	クレーム件数		件	0	0	0
	顧客満足度			ISO9001において把握、活動する。		
地域活動(ボランティア・地域清掃)		1	回	1	1	0

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(R5.1.24)の実排出係数を使用。

本社:NTTアノードエナジー0.405kg-CO2/kwh 現場:東北電力0.483kg-CO2/kwh

5 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物等を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル等に取り組んでおります。

表3 主な環境活動計画の内容

項目		取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	電力の二酸化炭素排出量の削減	<p>昼休み時や使用していない部屋等の照明消灯と、事務室の部分照明の実行</p> <p>冷暖房の温度調整(冷房28℃、暖房20℃)の推進</p> <p>ドアの開け放し防止の徹底と、ブラインドや窓の開閉による室内温度の調整</p> <p>使用していない部屋の空調の停止</p> <p>OA機器や照明器具等の省電力型への切り替え</p> <p>節電の表示を行う</p>
	車両・建設機械燃料等の二酸化炭素削減	<p>アイドリング禁止や急発進・急加速はしない等、エコドライブの励行</p> <p>タイヤの空気圧の確認等、適正な車両整備の実施</p> <p>最大積載量に見合った輸送単位の設定</p> <p>建設機械の省エネ運転の励行</p>
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	<p>暖房の温度(暖房20℃)の推進</p> <p>ドアの開け放し防止の徹底と、ブラインドや窓の開閉による室内温度の調整</p> <p>暖房器具の定期的清掃</p>
排出物抑制	産業廃棄物(建築副産物)の削減	<p>一般廃棄物の混載防止のための定期チェック</p> <p>産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとにした廃棄物の適正な処理</p>
環境配慮工事	環境保全の取組	<p>低騒音・低振動型建設機械等の使用</p> <p>工事用車両出入口の泥等のこまめな清掃</p> <p>場内側溝の油分、ゴミなどの浮遊物を除去する等、工事濁水による水質汚濁の防止</p>
その他	地域活動	ボランティア等の活動に可能な限り参加する

表4 ほか推進する環境活動計画の内容

項目		取組内容
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物の削減	<p>コピーをする際の必要枚数の把握、使用済み用紙の裏面利用、両面印刷の徹底</p> <p>ネットワークを利用した文書のやりとりや共有による不要な印刷物の削減</p> <p>コピー用紙等、資源ごみへの分別を徹底するよう、啓発文書を定期的に配布する</p> <p>資源ごみを分別保管し業者へ引渡しを行い、リサイクルを徹底する</p> <p>コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進</p> <p>使い捨て製品の購入や使用を抑え、再利用できる製品を優先的に購入・使用する</p>
節水	水道水の削減(節水)	<p>節水の表示を行い節水を徹底</p> <p>トイレ用水の節約に努める</p>

6 環境目標の実績

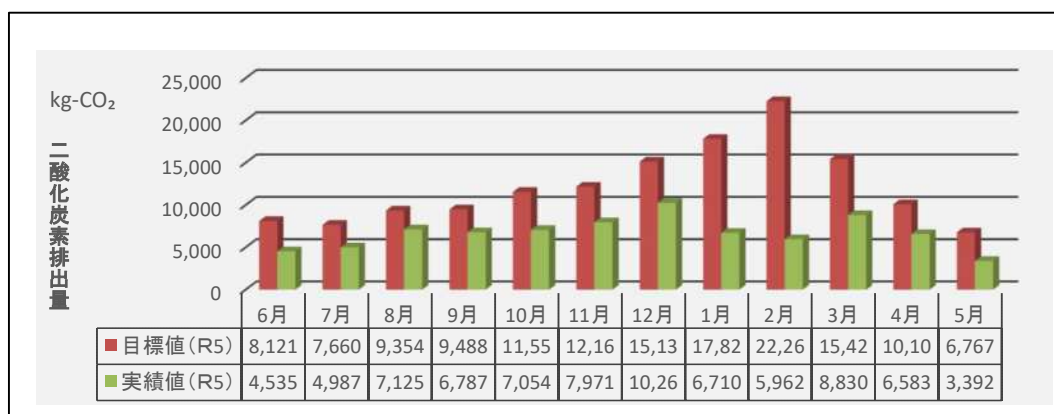
当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。
今回は、令和5年度(R5.6.1～R6.5.31)の実績についての評価結果を報告いたします。

表5 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	基準年実績値 H30～R2		令和5年度(R5.6～R6.5)			環境目標の 達成状況	
	実績値	単位	削減(増加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化炭素排出量の抑制	購入電力使用量	57,738	kwh	3%削減	56,006	51,116	達成
	ガソリン使用量	9,774	L	3%削減	9,481	9,805	未達成
	軽油使用量	29,761	L	4%削減	28,868	9,030	達成
	灯油使用量	7,623	L	1%削減	7,546	3,910	達成
廃棄物の排出抑制 (建設副産物のリサイクル率)		%	95%維持	95.00	99.28	達成	
環境配慮工事(クレーム件数)		件	-	0	0	達成	
地域活動(ボランティア・地域清掃)	1	回	-	1	3	達成	

《目標と実績グラフ》

二酸化炭素排出量の抑制



廃棄物の排出抑制



《環境活動の状況》

教育状況



空調設備の温度調整



節電の表示



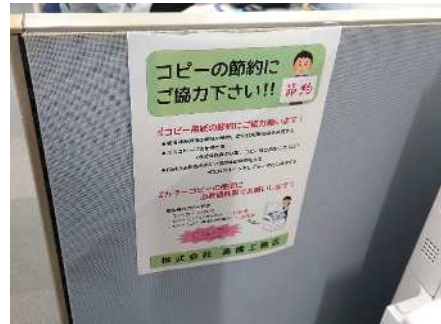
節水の表示



ゴミの分別



コピー用紙 節約の表示



7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組結果の評価

表6 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容	次年度目標値
二酸化炭素排出量の抑制	電力の削減	受注工事の特性により、現場での使用量は増加したものの、目標値を上回ることはなかった。本社の電気使用量の増加が見受けられる。	○	本社については、使用量を減らす取組を実施強化し、経過を観察していく。	54,039 (kwh)
	車両・建設機械燃料等の削減	ガソリンは、車両の増加により現場分の使用量が増加。軽油は、受注工事は多かったものの、目標値を上回ることはなかった。	△	使用量を減らす取組を実施強化しつつ、次年度の更新目標値で経過を観察していく。	8,858 (L/ガソリン) 12,071 (L/軽油)
	灯油・LPG等の削減	去年と比べ気温が暖かかったため灯油の使用量は少なかった。	○	引き続き取組み経過を観察する。	8,011 (L/灯油)
排出廃棄物の抑制	産業廃棄物	処分方法を見直した結果、安定して再資源化が出来ている。	△	引き続き混載を減らし、適正処分業者を選定する。	95.00 (%)
環境工事配慮	環境保全の取組	工事に伴う環境クレームは無かった。	○	引き続き取組みを進めていく。	0 (件)
その他	地域活動	建設業協会主催の清掃ボランティアの他に、地域清掃ボランティアを自主的に行った。	○	引き続き取組みを進めていく。	1 (回)

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

表7 ほか推進する環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容	次年度目標値
排出廃棄物の抑制	一般廃棄物	資源ごみのリサイクル量が減少したが、これは処分のタイミングによるものである。	-	一定の期間(できれば毎月)での処分を進めた数値を出したい。	-
節水	用水・排水	工事現場での水の使用はほぼ無かった。本社での使用は抑えられた。	-	引き続き取組みを進めていく。	-

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について、遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。

また、創業以来、関係当局からの違反等の指摘・住民等からの苦情・訴訟等について、問題はありませんでした。

表8 主な関連法令の遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守状況
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	対象建設工事の届け出(着手7日前)	届出書の提出
	発注者への報告等	報告・記録の保管
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	多量排出事業者(1,000t/年以上)	削減計画届・報告書の提出
	産業廃棄物管理票交付状況報告	報告書の提出
八戸地域広域市町村圏事務組合火災予防条例	指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出	届出書の提出

9 代表者による全体評価と見直しの結果

システムについて、現状に合わせた見直しが必要かと思われます。

目標の達成や活動について、更なる取組を推進し引き続き努めていき、自然環境への負荷低減と地域社会への益々の貢献を全社挙げて取り組んでまいります。

見直し項目	評価	改善及び指示
①環境方針	方針については、「課題とチャンス」を捉えた内容で概ね良好。	特になし。
②環境目標	R5年度では未達が1項目あり、内容的には前頁「7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容」の通り。	次年度の更新した目標値で引き続き経過を観察してほしい。
③環境活動計画及び環境経営システム	現場のガソリン使用量と本社の電気使用量が増加している。	「5 環境活動計画」の実施強化方法を検討、または見直しを進めてほしい。
④その他	特になし。	特になし。